

平成 24 年 1 月大雪警戒連絡本部の設置について

今月下旬からの中野飯山地域や北部山沿いを中心とした大雪により、積雪の深さが、平年の2倍以上となっている所があります。また、長野地方气象台によると2月1日から3日にかけてさらに降雪量が多くなることが予想され、これまでの降雪により、なだれが発生しやすい状態となっています。

このため、長野県では危機管理部危機管理防災課長を本部長とする『平成 24 年 1 月大雪警戒連絡本部』を設置し、今後の大雪に関する情報収集・連絡体制をとることとしました。

1 設置日時及び場所

平成 24 年 1 月 30 日（月）午後 3 時 長野県危機管理部内

2 体制

本部長 池田秀幸 長野県危機管理部危機管理防災課長

本部員 危機管理部職員及び各部局防災担当者

3 これまでの取組

- ・平成 24 年 1 月 25 日 市町村防災担当課長会議を開催し、「降積雪期における防災体制の強化」について依頼
- ・平成 24 年 1 月 27 日 大雪に関する庁内連絡会議を開催

4 被害状況

通行止めの措置を行っていた栄村の中条橋において、これまでの積雪によるものと思われる落橋がありました。

その他 15 時現在被害情報はありません。

【参考】

積雪の状況

30 日 14 時時点の積雪深（気象庁、単位：cm、カッコ内は平年比）

野沢温泉 245（164%）、小谷 219（207%）、飯山 204（210%）、信濃町 155（235%）